

第1章

はじめに

本区は、令和2年3月に今後10年間の区のまちづくりと区政運営の具体的指針となる「江東区長期計画」を策定しました。

長期計画策定から5年が経過し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び5類への移行、令和4年3月の鉄道事業許可から令和6年11月の工事着手に至る、地下鉄8号線延伸事業の進展、近年の気候変動とその影響による豪雨災害の頻発化や巨大地震による災害リスクの高まりなど、長期計画策定後の社会経済情勢の変化や多様化する区民ニーズに的確に対応するため、令和7年3月には、「江東区長期計画（後期）」を策定しました。

長期計画の推進にあたっては、これら社会状況の変化や行政評価の結果等に基づき、新たな主要事業の選定や事務事業の見直し等を毎年度行うこととしています。

「江東区長期計画の展開 2026」は、こうした見直し等を踏まえた主要事業の事業量及び事業費を示すとともに、主要事業以外の事務事業に関する新たな取り組み等についても掲載し、今後の区政運営について、その具体的な取り組みを明らかにすることを目的として策定したものです。

また、長期計画の推進にあたっては、各施策が目指す江東区の姿及び施策の成果や状況を測る指標を設定し、施策や事務事業の評価を行う「行政評価システム」を活用しています。

「江東区長期計画の展開 2026」では、令和7年度行政評価結果を併せて掲載し、評価と予算編成、事業実施を一つのサイクルとして示すことを通じて、長期計画の展開における課題と今後の取り組みの方向性をわかりやすく説明することも目的としています。

区は、この「江東区長期計画の展開 2026」に基づき、長期計画の着実な実施を図ってまいります。